

アドバンス・ケア・プランニングについて (A C P)



— 人生会議 —

アドバンス・ケア・プランニング

(ACP) — とは？

A

Advance

あらかじめ

C

Care

世話 配慮 気配り
医療 看護 介護

P

Planning

計画をたてる

人生会議(ACP)とは、将来あなた自身が病気になったり、介護が必要になったときに備えて、これまで大切にしてきたことや、これから誰とどのように過ごしたいか、希望する医療や介護のことなどについて、家族や大切な人、医療、介護関係者とともにあらかじめ考え、繰り返し話し合うプロセスのことを言います。



人生会議(ACP)サイクル



1, 考えてみる

自分の大切にしていること
どんな医療や介護を受けたいか

考えは変わる
このサイクル
を繰り返す

2, 信頼できる人に話す

考えたことについて信頼
できる人に話してみる

3, 共有して残す

考えたことや話し合った
ことを書き留めておく

対話すること

大切にしてい
ることは何か

価値観の共有

医療や介護への
考えを伝える

自分の意思や希望を伝えら
れない状況になったときに
考えや好みが尊重される



平成30年 厚生労働省

「人生の最終段階における医療の決定プロセスに関するガイドライン」

医師等の医療従事者から適切な情報の提供と説明がなされ、それに基づいて医療・ケアを受ける本人が多専門職種 of 医療・介護従事者から構成される医療・ケアチームと十分な話し合いを行い、本人による意思決定を基本としたうえで、人生の最終段階における医療・ケアを進めることが最も重要な原則である。

アドバンス・ケア・プランニング（ACP）の愛称

「人生会議」

人生会議の日
11月30

いい看取り看取られ



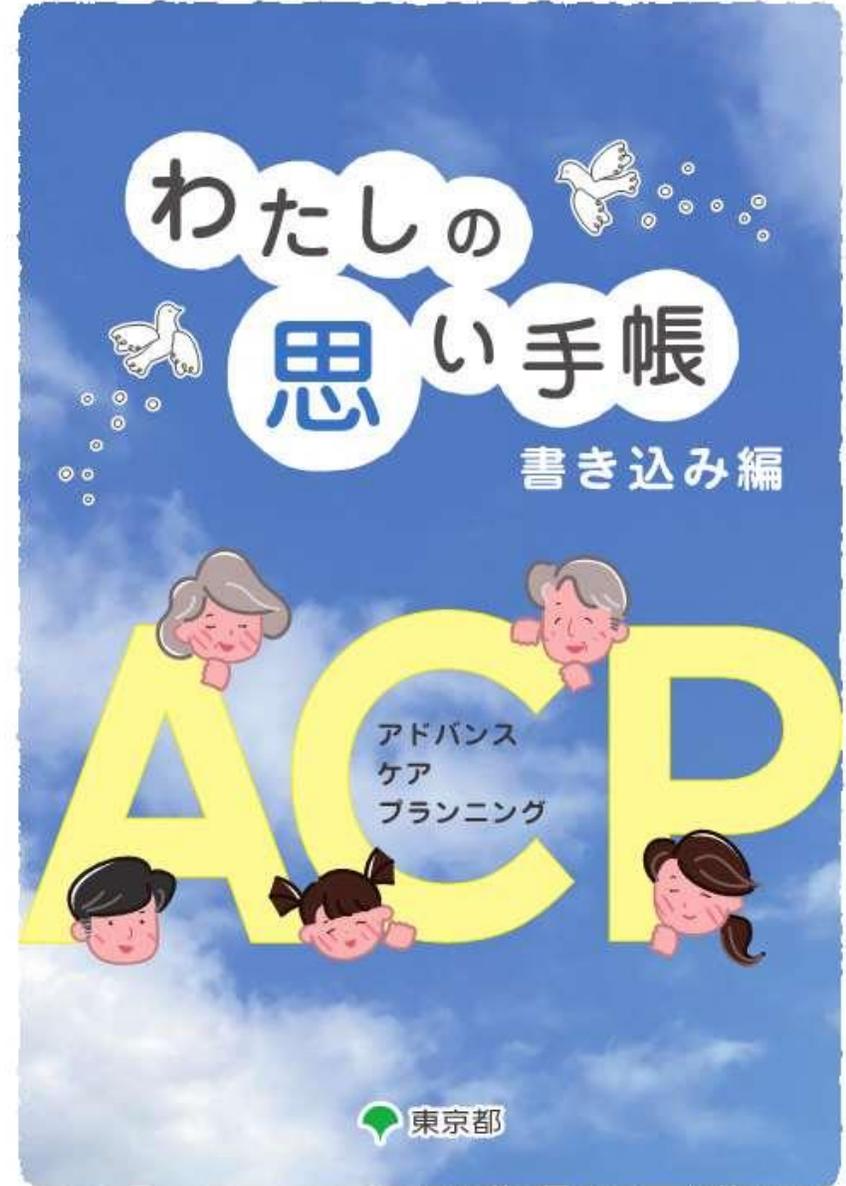
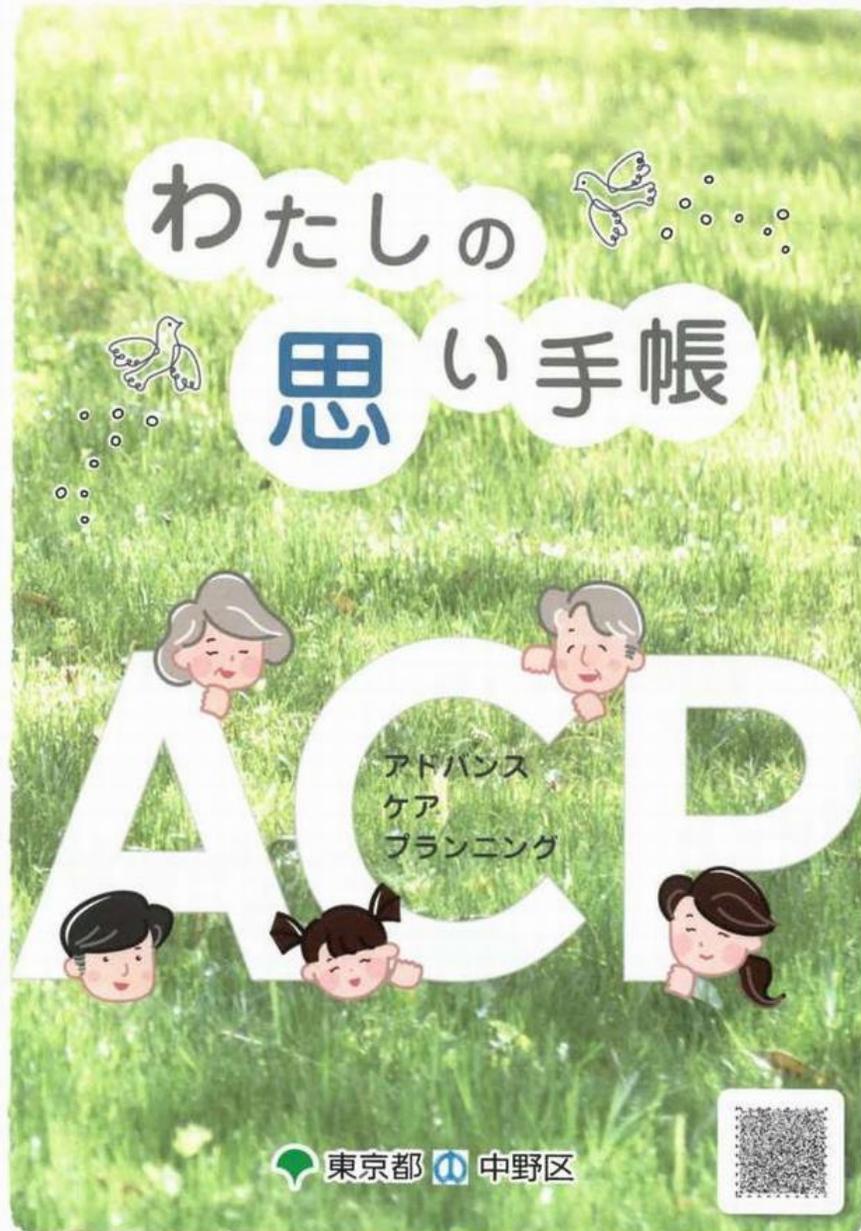


中野区のACP普及啓発事業

- 令和元年度に他事業で人生会議（ACP）をテーマに講演会実施
→非常に反響があり、事業化へ
- 令和3年度より事業開始
→区民や医療・介護関係者の認知度向上を目指し普及啓発に取り組む
- 普及啓発
 - ・東京都「わたしの思い手帳」の活用
 - ・中野区版リーフレット作成・配布
 - ・講演会・研修会（区民向け・支援者向け）
 - ・パネル展示 等



東京都「私の思い手帳」





中野区オリジナルのリーフレット

人生会議ポイントその1 信頼できる人って誰？

信頼できる人はひとそれぞれ。 「あなたにとって」の信頼できる人は誰なのかを あらためて考えてみましょう。



自分の意思や希望を伝えられない状況になったときに備えて「借債額や人生観を共有しておく」「医療や介護に対する考えを伝えておく」と、医療や介護の決定の際に、
●あなたの考えや好みが尊重されます
●あなたの考えを想像し不確かなまま決定することになる 家族などの気持ちの負担が軽くなります

人生会議ポイントその2 何を話そう？



中野区の取り組み

- 「わたしの思い手帳」無料配布**
人生会議(ACP)を行う際に活用できる資料です。(東京都発行)
- 「もしバナカード」無料貸し出し**
人生会議を体験するためのツールです。36枚のカードに「余命半年と言われたとき」を想定して、大切にしたいことや借債額が書かれています。

他にもさまざまな取り組みを行っています。詳細は中野区ホームページをご覧ください。
<https://www.city.tokyo.nakano.lg.jp/dept/172050/0031459.html>

令和4年11月発行 中野区地域支えあい推進部 地域包括ケア推進課 (電話 03-3228-5785)



「人生会議」始めてみませんか？ 届け！私の思い



人生会議 (ACP:アドバンス・ケア・プランニング)とは
将来あなた自身が病気になったり、介護が必要になったりしたときに備えてこれまで大切にしてきたことや、これから誰とどのように過ごしたいか、希望する医療や介護のことなどについて、家族や大切な人、医療・介護関係者とあらかじめ考え、繰り返し話し合うプロセスのことを言います。厚生労働省はACPの愛称を「人生会議」と決め普及・啓発を行っています。



人生会議 (ACP:アドバンス・ケア・プランニング) を開きましょう

将来あなた自身が病気になったり、介護が必要になったときに備えてこれまで大切にしてきたことや、これから誰とどのように過ごしたいか希望する医療や介護のことなどについて、家族や大切な人、医療・介護関係者とともあらかじめ考え、繰り返し話し合うプロセスのことを「人生会議(ACP)」と言います。

中野区では、在宅医療・介護連携促進の一環として「人生会議(ACP)」の普及に取り組み、ACP普及啓発小冊子「わたしの思い手帳」を配布しています。

リビング・ウィルは現在の意思表示であり、**何度でも変更・撤回**ができます。

ここに書かれた医療行為について ご自分の病状の原因や病状などで考えていく 必要があります。自分や家族だけで考えるのが難しい場合は医療関係者から十分な説明を受けてください。	作成に当たり 最も優先されるのは本人の意思 です。作らなくてもいいものは作る必要はありません。	医療者や家族、あなたをサポートしてくれる方とあなたの意思についての 情報を共有し理解し合う ことが大切です。
--	--	---

厚生労働省の「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」には「方針の決定は医療・ケアチームと十分な話し合いを行い、本人の意思決定を基本としたうえで進める」との記載があります。

2024年3月発行 中野区地域支えあい推進部 地域包括ケア推進課 (電話 03-3228-5785)



「わたしの思い手帳」とともにあなたの大切な人と話してみてください

人生の最終段階における医療・ケアについての生前の意思表示

これは**現在の意思表示**であり**何度でも変更・撤回**ができます

パネル展 令和6年11月25日から29日まで区役所1階ナカノのナカニワ

「人生会議」始めてみませんか？

届け！私の思い



大切な人に、あなたの思いを伝えていますか？
大切な人の気持ち、どのくらい知っていますか？

人生会議(ACP：アドバンス・ケア・プランニング)とは、将来あなた自身が病気になったり介護が必要になったりしたときに備えて、これまで大切にしてきたことやこれから誰とどのように過ごしたいか、希望する医療や介護のことなどについて家族や大切な人、医療・介護関係者とあらかじめ考え、繰り返し話し合うプロセスのことを言います。

厚生労働省はACPの愛称を「人生会議」
厚生労働省はACPの愛称を「人生会議」と決め普及・啓発を行っています。



あらかじめ(事前) 将来に備えて今からスタートを!!

医療・介護だけではなく、日々の暮らしから考えてみよう!

決めることよりも 対話し計画を立てていく過程が大切!

中野区

どうやって話し合ったら良いの？

いつ？

話し合う時期や場所は、いつ・どこでもかまいません
家族・友人が集まる機会に話し合ってみましょう

誰と？

ご自身が信頼できる方、家族・親しい友人・治療にあたっている
医師・看護師・ケアマネジャー・介護従事者の方などと
話し合ってみましょう

何を？

- ・あなたが大切にしていること
- ・どのような生活・暮らしをしていきたいか
「近況」「好きな食べ物」「趣味」など

他愛のない話を入り口にするのも一つの方法です



これまで考えたことを踏まえて、最期まであなたが自分らしく
生きるための医療・介護について、考え話し合ってみましょう

例えば、こんな風に始めることも・・・

1 あら、あの俳優が亡くなったわ 私と同年よ

2 ペットと一緒に居たいって自宅で療養していたそうよ

3 それじゃ介護が必要になったらどうするの？

4 そうか、じゃあ自分で歩けるうちは家に居たいなあ

俺も死ぬまで家に居たいよ

そういうこと考えていかなきゃいけないわね

